

学校教育目標

心身ともに健やかで個性豊かな意欲あふれる児童の育成
— やればできる 今日も来てよかった相知小学校 —

「心身ともに健やかで個性豊かな意欲あふれる児童」を育成するための基盤となるのは、自分に対する自信である。学校生活のあらゆる場で、成功体験を積み重ねていくことや、友達関係の中で自尊感情を高めていくことが、「やればできる」の自信となり、その後の生きる力の源となるであろう。この考えの基に、子どもを見つめ、どの子にも「今日も来てよかった」を味わわせられる学校づくりをめざす。

相知小の合言葉

ニコ・キビ・ハキ・ドンな子ども・教師になろう

ニコ

ニコニコ笑顔で 元気なあいさつ

キビ

キビキビ動いて 無言でそうじ

ハキ

ハキハキ返事と やさしい言葉

ドン

ドンドン読書で 100冊めざそう

本年度の重点

(1) 小中連携の推進（学力向上をめざして）

- ・「9年間を見通した指導」の研究と実践発表（11月15日）
- ・「学びあいを支える力」の育成
（学習づくり部、生活づくり部、仲間づくり部での取り組み）
- ・全職員、年1回以上の授業研究会

(2) 「ニコ・キビ・ハキ・ドン」の実践

- ・各部、各学級の計画に「ニコ・キビ・ハキ・ドン」を入れ、具現化
- ・学期に1回、学級での実践について評価を実施（アンケート）

(3) 計画—実行—反省を基盤として学校改善

- ・“やればできる、今日も来てよかった”が全ての教育活動の評価の基準

(4) 保護者、地域住民との連携と、信頼される学校づくり

- ・学校行事への参加の呼びかけと、地域行事、PTA行事への協力
- ・「早寝・早起き・朝ごはん、歩いて登校、声に出して本読み」の家庭への浸透

(5) 教職員こそ最大の教育環境（モデル）であるという自覚を持ち、研究と修養に努める。